

別記  
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事		2015年7月31日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府城陽市平川横道93		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社 山岡製作所 代表取締役 山岡靖尚
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001	
適用範囲	株式会社山岡製作所 本社工場、宇治田原工場	
導入年月日	1999年1月29日	
認証番号	JQA-EM0322	
基本方針	私たちは、自然との調和・地域社会との共生を考え、環境改善活動に取り組み、社会に貢献する。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	1. エネルギー及び資源コストの削減 1) 電力量: 原単位(1kWh当りの売上金額)向上 kWh/月26年度実績以上 2) 燃費: 26年度平均実績以上 3) 廃棄量: 原単位(1kg当りの売上金額)向上 kg/月26年度実績以上 2. 設計品のコスト改善: 装置・金型のVE金額200万円以上/年	
目標を達成するための取組の内容	1-1) 電力量: 1回/2~3ヶ月の省エネ部会開催で改善を推進 1-2) 燃費: 管理部門=計画的低燃費車の導入と配車、複数車両管理部門=低燃費車の効率的活用 1-3) 廃棄量: 全部署=1件以上の削減活動の実施 2 設計品のコスト改善: 1回/2~3ヶ月の製品環境部会開催で改善を推進	
目標を達成するための取組の進捗状況	1-1) 省電力: 空調シーズン前の室外機熱交換器の高圧洗浄実施・一般エリア空調温度の適正化・工場エア漏れ調査と修理実施 1-2) 省燃料: ・スマートドライブ、車両整備 空気圧調整10%アップと不要積載物の撤去を継続・低燃費車効率的活用を継続・低燃費車の計画的導入 1-3) 廃棄量削減: パレットや梱包材のリユース、リサイクル・継続的分別監視	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	計画通りに取り組むことができていますが、受注及び生産量が急増しており、消費するエネルギー、排出する廃棄物とも絶対量は抑えきれない。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の順守状況については、6ヶ月に1回確認を行っている。外部測定(騒音、振動、水質)は2回/年実施しており、これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、1年に1回はレビューしている。H26年度は現行の目標及び取り組み内容により一定の効果が得られたことから、H27年度も同一のシステムにより運用する。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。